

## 金沢城公園整備事業

受賞機関 石川県土木部公園緑地課  
石川県土木部営繕課

### はじめに

金沢城は、石川県民にとってかけがえのない歴史的文化遺産であり、特別名勝「兼六園」と一体となった県都金沢のシンボル空間です。金沢城公園は、この県民共有の貴重な財産を永く後世に伝えるとともに、県都金沢の都心部の緑豊かなオープンスペースの都市公園として事業を進めている。

### 事業概要

都市計画決定：平成8年1月30日  
総合公園 28.5ha  
都市公園一部開設：平成13年9月8日  
6.5ha

### 事業の特徴

整備方針は、都心部に残された貴重な緑を保全しながら、江戸後期の城郭の地割りを基に、史実を尊重して整備することとしている。これまでに菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓、橋爪一の門、鶴の丸土塀、橋爪橋等歴史的建造物の復元、石垣の修築、内堀の再現などを行い、往時の城郭の風情を醸し出すとともに園路・広場・植栽等の基盤整備を進めてきた。

また、ライトアップ施設も整備し、夜の賑わいや魅力ある夜の景観を創出している。

平成13年9月第18回全国都市緑化いしかわフェアの開催に合わせ、都市公園として一部開設し、県内外から高い評価を得ている。

菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓の復元工事の計画・設計にあたっては、埋蔵文化財調査、古絵図、古写真により史実を明らかにするとともに、専門家・有識者などから意見を聞きながら進めた。

復元した建造物は、史実を尊重して、日本古来の柱と梁を組み合わせた継手・仕口による伝統工法で



菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓



全国都市緑化フェア開催時

施工している。外壁は「なまこ壁」と白漆喰、屋根は鉛瓦葺きとしている。

また、バリアフリーにも配慮し、エレベーター、階段昇降機を設置している。

延べ床面積は1,894㎡で、明治以降に建てられた木造城郭建築物としては全国最大規模で、大径木の事前調達や土台石垣の解体、修築を含め、平成10年3月から実に3年4カ月をかけて造られた。

現在、金沢城公園では、今年1月から放送中の大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語」に合わせ、「加賀百万石博」がこの3月23日から来年1月5日まで開催され、多くの人々が来園している。